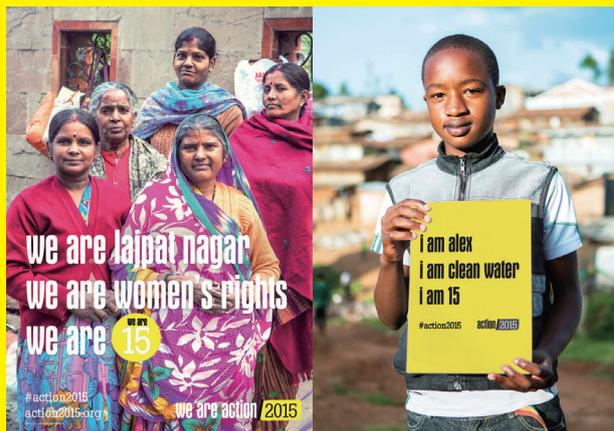


action/2015

貧困・格差、不平等、気候変動
を解決するための
キャンペーン

世界125カ国・1300以上のNGOなど市民団体が参加する
世界的なキャンペーン
action/2015 がスタート。



●参加方法●

日本ではアドボカシー・フォトを募集しています。写真を撮ってウェブサイトから投稿し、表示名と関心があること(解決して欲しい社会課題など、裏面も参考にしてください)を入力すると、下のような写真がアップされます。スマホで自撮りしてすぐに投稿できます。フェイスブックやツイッターでもぜひ共有してください。



私達は「動く→動かす」メンバーです
関心は貧困と格差の解消！
アクション2015を応援します

action/2015 Japan

action/2015は、

9月にニューヨークで開かれる国連総会で決まる国際的な開発目標

「ポスト2015年開発目標(ポスト2015)」と、

12月にパリで行われる

「第21回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)」で合意される

気候変動に関する取り組みが、

長期的視野に立った問題解決につながるものになるように、

各国政府に対して働きかけを行っていきます。

12月までの間に世界各国で、さまざまな活動が行われます。



国連総会とCOP21という2つの会議で決まる内容が、次の世代が住む社会と地球の形に非常に大きく影響することは間違いありません。そして忘れてはいけないことは、会議で議論をして決定を下すのは、各国首脳だということです。世界のリーダーたちが、今後の世界を担う次の世代のことを考えて決定を下すよう、あなたの声を日本政府に送りましょう。みなさんから集まった関心事項は、このキャンペーンの日本事務局を務める国際協力NGOネットワーク「動く→動かす」が責任を持って日本政府に届け、政策提言や働きかけを行っていきます。アドボカシー・フォトを投稿して、企画、イベントにもぜひ参加してください。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<http://www.ugokuugokasu.jp/action2015jp/>

事務局:動く→動かす 〒110-0015 東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル3階(特活)アフリカ日本協議会 気付

電話:03-3834-6902 FAX:03-3834-6903 action2015jp@gmail.com <http://www.ugokuugokasu.jp>

action/2015
Japan

◆ポスト2015年開発目標(ポスト2015)とは

ポスト2015は、2000年に作られた、主に途上国の課題解決を目指して2015年までに達成することが合意された「国連ミレニアム開発目標(MDGs)」の後継目標です。ポストMDGs、SDGs(持続可能な開発目標)などとも呼ばれています。現在、先進国にも関連する次のような17の目標と169のターゲットが提案され、国家間交渉が行われています。最終的には9月までさまざまなレベルで交渉が続き、国連総会で採択される予定です。

目標1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

目標2. 飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

目標4. すべての人々への包括的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

目標5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女子のエンパワーメントを行う

目標6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

目標7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な現代的エネルギーへのアクセスを確保する

目標8. 包括的かつ持続可能な経済成長、およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用とディーセント・ワーク(適切な雇用)を促進する

目標9. レジリエントなインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進、およびイノベーションの拡大を図る

目標10. 各国内および各国間の不平等を是正する

目標11. 包括的で安全かつレジリエントで持続可能な都市および人間居住を実現する

目標12. 持続可能な生産消費形態を確保する

目標13. 気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる

(国連気候変動枠組条約(UNFCCC)が、気候変動への世界的対応について交渉を行う一義的な国際的、政府間対話の場であると認識している。)

目標14. 持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続的に利用する

目標15. 陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・防止および生物多様性の損失の阻止を促進する

目標16. 持続可能な開発のための平和で包括的な社会の促進、すべての人々への司法へのアクセス提供、およびあらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包括的な制度の構築を図る

目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

(公益財団法人地球環境戦略研究機関の仮訳より)

◆第21回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)とは

この会議は今年12月にパリで行われ、気候変動に関する2020年以降の国際的な取り組みに関する合意が行われることになっています。現在の目標は、地球の気温上昇を産業革命前と比べて2度未満に抑えることですが、実際には取り組みは進んでおらず、このままでは21世紀末時点で4度を超える上昇になると予測されており、人間の生活と環境に大きな影響が出るとみられています。

●賛同者のメッセージ●

世界の人々は、不公正、貧困、無教育の状況をなくすことを望んでいます。私たちの世界は相互に結びついており、若者たちは真の変化を実現するためにかつてないほどの規模で集まる準備ができています。世界のリーダーたちに向け、2015年に行動を起こすよう一緒に要求します。そして、私たちはそれぞれの役割を果たす必要があります。私は、すべての子どもたちに質の良い無料の初等・中等教育を保証するよう、世界のリーダーたちがこの機会を逃さないよう粘り強く訴えます。それが私のゴールです。世界で学校に行きたいと望んでいる何百万人の子どもたちの声として、私の声が届くことを望んでいます。

マララ・ユスフザイ(ノーベル平和賞受賞者、教育活動家、パキスタン)

*マララさん以外にも、ムハマド・ユヌス氏(ノーベル平和賞受賞者、グラミン銀行創設者、バングラデシュ)、ベン・アフレック氏(俳優・映画監督・東コンゴイニシアチブ創設者、米国)、ビル・ゲイツ氏(ビル&メリンダ・ゲイツ財団創設者、米国)、デズモンド・ツツ氏(名誉大司教、南アフリカ)、ドゥバンジュ氏(ミュージシャン・活動家、ナイジェリア)など、多くの世界の著名人が賛同しています。